



第 14 回 例会 報告 (10月11日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	53名	・出席数	30名	・欠席数	23名
・当日出席率	58.33%	・前々回修正出席率	85.42%		

<欠席会員>原、檜垣(直)、檜垣(巧)、平田、冠、川上、木村、小堀、近藤、桑森、光藤、村上(裕)、村上(修)、尾越、島田、竹田、田中、吉田
 [免除会員] 青野、原田、松本、白石、八木
 <9/27 欠席補填>(9/24 今治北)尾越、檜垣(圭) (9/28 西条)村上(裕) (9/29 米山)松木

◇**マニタさんスピーチ**・6ヶ月間奨学金貸与期間を長くして下さいまして心から感謝致します。学会での発表のために上海と杭州へ行きました。中国は確かに発展した国ですが日本とは異質の発展でした。助けはくれるけど笑顔がなく本心からの手を差し伸べてくれているのか疑問に感じました。タクシーを利用する際のマナー等を日本人と比べると、本当に日本は素敵で、日本で勉強できることを嬉しく思いました。

◇**幹事報告**・10月18日(木)例会終了後、佐々木ガバナー補佐をお迎えし、第2回クラブ協議会を開催します。ご出席の皆様はクラブ計画書をご持参下さい。

◇**親睦活動委員会・入会記念スピーチ**・渡辺易廣会員(在籍19年)：入会してかなり長い時間が経ったと感じます。入会した頃は、親睦委員のメンバーは先輩会員をお迎えする為に11時半には会場来ていました。入会3年目で幹事を務めた際には例会中、進行について指摘されることもあり厳格な時代がありました。▼藤堂宗昭会員(在籍2年)：あつという間に2年が経ちました。今治支店長の任務もきちんと果たし、RC活動も楽しんで行きたいです。

ロータリー情報委員会アワー

◆**飯忠悟委員長**：RCで活動する際にはvocational service(職業奉仕)とは何かということを中心に理解しておかなければなりません。ポール・ハリスの語録『私の知る限りでは、ロータリーには「できない」と「できる」との葛藤で、「できない」が永遠に勝利を収めたことは一度もありません。広大なビジョン、崇高な目的は必ず勝利を収めます』(米国イリノイ州、シカゴで開かれた1930年RI国際大会でのメッセージ)という言葉があります。“成せば成る”ということだと思います。実際にRCのポリオワクチン投与でほぼポリオは撲滅しました。また、第2670地区の活動では、水が砒素で汚染されたバングラデシュで安全な水を供給するための井戸を設置、タイでは小学校に浄水器を寄贈できました。これは『心を強く、熱意を新たに、希望を高く持ちましょう。』(ロータリアン誌 1926年8月号)ということが実践されたよい例だと思います。ポール・ハリスは『ロータリーは友情の扉です。みんなのために扉を開け放ちましょう。』と異業種の友人を通して、異なった考え方を認識し、自己研鑽に励み見識を高く持つことへのヒントを与えています。ロータリアンは他者に対して寛容であることがRCの中核をなすものだと思います。JRICではポール・ハリス語録が定期的に配信されていますので、JRIC会員になられることもおすすめ致します。



<ゲスト> 米山記念奨学生 ティミルシナ・マニタさん

次回例会(10月18日)

【 創立記念例会・ガバナー補佐クラブ訪問 】

※例会終了後クラブ協議会を予定しています。

<結婚記念日祝> 光藤 廣司氏(10/22) 岡田 昌平氏(10/22) 松木 徹夫氏(10/22)
 [健寿司]